

金山中スキー部

県大会男女総合優勝の快挙！ 東北大会リレー男女アベック優勝の金字塔！

男女個人で東北・全国切符を獲得！

① 歓喜に沸く金山中スキー部員と保護者会、指導スタッフの皆さん、②表彰式、③女子リレー優勝が決まったゴールでガッツポーズする高橋美里選手、④一走の須賀選手、⑤2走の高橋佳奈子選手



- ① 第54回山形県中学校スキー大会 1月15～17日 真室川町秋山クロスカントリーコース
- クラシカル
 - 【女子】 3位：須賀愛依、4位：高橋佳奈子、8位：高橋 茜
 - 【男子】 4位：星川優河、5位：丹 郁人、8位：加藤柚生
 - フリー
 - 【女子】 2位：高橋佳奈子、4位：須賀愛依、6位：高橋美里、8位：岸 桃加
 - 【男子】 3位：星川優河、5位：高橋大地、8位：丹 郁人
 - リレー
 - 【女子】 優勝：須賀愛依、高橋佳奈子、高橋美里
 - 【男子】 2位：丹 郁人、星川優河、加藤柚生、高橋大地
 - 男子総合2位、女子総合優勝、男女総合優勝

男女総合優勝の大躍進
第54回山形県中学校スキー大会が1月15～17日、真室川町の秋山クロスカントリーコースで行われました。金山中学校スキー部(明石弘監督)は、距離競技の個人種目で入賞13と躍進。最終日のリレー競技では、男子が2位、女子が見事に2年連続の優勝を果たしました。この結果、学校対抗で男女総合優勝の栄冠を手にし、東北・全国大会の出場を決めました。

圧巻の女子リレー、王者の風格
女子リレーは理想の展開でゴールテープを切りました。昨年の全中大会に出場したメンバー2人を擁し、終始盤石のレース展開を繰り広げました。「嬉しい！楽しく走れた」3選手は、ゴール後も笑顔。サポート選手も駆け付け喜びを分かち合いました。

持続してきた強化策
ここ数年の県大会は、金山中学校の躍進が続いています。町とクロスカントリースキー強化委員会(高橋明彦会長)が連携を積み重ね、スポーツ少年団から高校生までの強化策が持続していることが、県内トップの部員数と指導体制が維持され、優秀な結果に結びついたと言えます。

東北大会優勝に向けて
チームの目標は「東北大会優勝」と優勝後も奮ることなく、選手たちは次の大会を見据えていました。惜しくも東北大会に出場できない選手は悔しさを口にしながらも「できることを確実にやっ」とて金山中学校のためのサポートと応援をしたい」と話しチームワークの良さを感じさせてくれました。

今大会、ライバル校に敗れ2位で出場することになった男子リレー。ゴール後に倒れ込み悔し涙を流す姿がありました。男子選手は「悔しかった。気持ちの弱さがあったかもしれない。東北大会でリベンジしたい」と県大会以上の走りを約束し、応援団に御礼のあいさつと東北大会に向けた決意表明を行いました。おめでとうございます。

東北大会も制す「男女リレーアベック優勝！」

1月22日から24日まで秋田県田沢湖スキー場で開催された東北中学校スキー大会では、県大会の勢いをそのまま個人種目で多くの入賞を勝ち取りました。圧巻は最終日に行われたリレー競技です。男子リレー女子リレーともに優勝という学校初の栄冠に輝きました。県大会での課題をチーム全体で解決し、まさに有言実行の好成績。金山中学校スキー部に新たな歴史が刻まれました。

同校スキー部は1月25日、上村隆士校長と横田政美教頭と明石弘監督とともに役場を訪れ、優勝報告をするとともに、支援や応援に対する感謝の気持ちを鈴木町長に伝えました。

全国大会は2月5日から北海道名寄市で開催されます。金山中学校スキー部の益々のご活躍期待します。



東北大会リレー優勝メンバーの皆さん

会場の真室川町は、来年度全国大会の開催が決まっています。コースの至る所に金山町から応援に駆け付けた人が並び、地元以上の大声援で選手を後押ししました。ある保護者は「選手や保護者以外の応援もすごく力になった。町の協力と指導スタッフに感謝。東北・全国大会に向けていい経験が積めた」と喜びと安堵の表情を浮かべました。

